

【施設状況】

グループ名称	若穂多目的広場								
指定管理者名	公益社団法人長野グライダー協会					法人番号	1100005000034		
所管課	主	151000	スポーツ課	副					
構成施設		若穂多目的広場							
施設分類	03	施設貸出2型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	多目的広場（グライダー練習場）								
施設設置目的	グライダーの運行及び各種行事の用に供し、航空スポーツの育成また市民文化の交流に資するため設置された。								
基本方針等	若穂多目的広場は、長野市内で唯一の航空スポーツに対応した運動広場であり、専門的な知識と技術を持ったスタッフの運営により、幅広い年齢層の人々に航空スポーツを楽しんでもらい裾野を広げていくことを目指している。								
主な実施事業	・施設の貸出し ・各種イベントの開催								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	公益社団法人長野グライダー協会			指定回数	3 回	
指定期間	平成29年4月1日	～	平成34年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

No. 72

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	H25	H26	H27	H28	対前年比	評価
		グライダー訓練	人	1,462	1,251	1,575	1,133	72%	3
		グライダー教室	人	77	95	155	70	45%	
		その他訓練等	人	1,014	717	966	1,631	169%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) ・機体整備のため教室が開催できなかったこと、悪天候のため受付ができなかったことにより教室の利用者数が減少した。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・使用の許可に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・施設の使用許可の取消しに関する業務 ・市が必要と認める業務			提案を求めている				
	自主事業	なし			提案を求めている				
サービス維持・向上の取組み (広報等)		ホームページ等により積極的に広報活動を行い、幅広い利用を呼びかけている。							

3 利用者評価

区分	内容	評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法 インターネット等	3
	(2) 調査、会議等の内容 ・聞き取り等によって把握	
	(3) 調査、会議等の結果 航空スポーツにおいて、最適な自然環境に恵まれており、全国でも当施設での活動を希望する団体等も多い。	
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価	3
	(2) 苦情・改善等の要望事項	
	《対応措置》	

	指定管理者収支（平成28年度）				市の収支				評価	
	年度計画額		収支実績額		平成28年度決算		平成27年度決算（前年度）			
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額		
事業収支 (単位：円)	収入	利用料金		利用料金		歳入	使用料		使用料	
		指定管理料		指定管理料			雑（納付金）		雑（納付金）	
		委託料		委託料			<small>行政財産目的外使用料</small>		<small>行政財産目的外使用料</small>	
	販売収入等		販売収入等		その他		その他			
	その他収入		その他収入							
	計	0	計	0	計	0	計	0		
	支出	人件費		人件費	468,300	歳出	指定管理料		指定管理料	
		設備管理費	468,300	設備管理費	468,300		委託料		委託料	
		備品購入費		備品購入費			需用費		需用費	
	修繕費		修繕費		役務費		役務費			
光熱水費		光熱水費		<small>使用料・賃借料</small>		<small>使用料・賃借料</small>				
事業費		事業費		修繕費		修繕費				
事務経費		事務経費		工事請負費		工事請負費				
本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費				
その他		その他		その他		その他				
計	468,300	計	468,300	計	0	計	0			
自主事業	収入		収入							
	支出		支出							
	自主事業損益	0	自主事業損益	0						
損益		-468,300		-468,300	差引		0			
人件費比率【人件費（賃金等）／平成28年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合） 0.0%										
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由										

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	<input checked="" type="checkbox"/>	
	1 施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切であったか		
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか	<input checked="" type="checkbox"/>	

7 地域連携

地域連携	評価
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p>	3
<p>協定内容・指定管理者提案</p>	
<p>追加された内容、未実施の内容及びその理由</p> <p>・隣接する農地の土地所有者との親交もあり、連携して諸問題の解決に取り組んでいる。 ・グライダー運搬用トレーラー約20台の保管場所として、近隣の土地所有者の協力を得ている。 ・当施設を利用する際の、宿泊施設及び消耗品等の調達は地元業者を積極的に利用している。</p>	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性 5 4 3 2 1 0</p> <p>施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	3	6	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由

- ・グライダー飛行の専門的な知識を活かし、安全かつ適切に施設を維持管理できている。
- ・河川敷という特質上、グライダー飛行に限らず、各種訓練等にも利用されている。
- ・今後利用者を増やすべく、除草作業等により施設の維持管理に努めている。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題

改善状況

改善案等（改善されていない場合）

次年度の目標・
取組み等
(施設所管課)

- ・安全対策及び施設の維持管理の徹底を図る。
- ・グライダーでの利用以外にも、施設の目的に合った利用要望が申請された場合は積極的に受入れ、施設の有効利用を促進する。

指定管理者自己評価	B
<p>(1) 今年度の取組みに対する評価</p> <p>① サービス向上に向けての取組み</p> <p>グライダー訓練に供すること：年間を通じて支障なく供することができた。 機材の撤収などスムーズにできた。</p> <p>一般市民の広場として供すること：グライダー訓練と市民のレジャー活動の親密な供用ができた。 ラジコン趣味の市民の活動と時間的すみわけが明確で安全を確保できた。 県警機動隊、白バイ隊、警ら隊、鑑識部の訓練など、公的な活動にも協力できた。 市内企業の業務活動にも協力できた。</p> <p>② 業務の効率化に対する取組み</p> <p>乗用草刈り機が4台になり能率を上げることができた。 重機レンタルにより、路面整備、護岸のブッシュの刈り取り等実施できた。</p> <p>③ その他</p> <p>(2) 指定管理者業務実施上の課題</p> <p>(3) 次年度以降の取組み</p> <p>日本選手権の実施を目指して広場の拡充をはかっていきたい。 舗装路のひび割れ、き裂が目立ってきたので整備を検討したい。</p>	

【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る